

第70回NHK杯全国高校放送コンテスト熊本県大会

1 目的（全国大会要項より）

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。

2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。
- (2) 情報発信者としての自覚を高め、あわせて創造性を育てる。
- (3) 社会との関わりに目を向け、放送の果たす役割を学ぶ。
- (4) 人間尊重の心を培い、国際理解を深める放送の働きを確かめる。
- (5) 学園生活の中におけるおいを育て、心のふれあいの場をつくる。

3 研究主題

全国統一テーマ：「私たち高校生と放送」

高校生の連帯、先生方とのきずな、地域や社会への結びつきを、日常生活の中で考え、主体的に放送活動に展開すること。

4 主催

熊本県高等学校文化連盟放送専門部 NHK熊本放送局

5 日時・会場

(1) 日 時 令和5年（2023年）6月11日（日）

アナウンス・朗読部門 予選・決勝

ドキュメント・ドラマ部門 決勝

研究発表部門

8:30～9:00 受付・諸連絡

(9:00～9:20 開会式)

9:30～12:00 アナウンス・朗読部門予選

9:30～12:00 ドキュメント・創作ドラマ各部門決勝

12:20～ アナウンス・朗読部門決勝進出者発表

12:30～12:40 アナウンス・朗読部門決勝進出者受付（学校別）

12:45～14:00 アナウンス部門決勝

14:00～15:00 研究発表会部門決勝

14:15～15:45 朗読部門決勝

(16:15～17:00 閉会式)

※本大会は新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を踏まえ、大会運営を変更する場合があります。その場合、事前に熊本県高文連放送専門部ホームページ <https://ws.higo.ed.jp/hshousou/> で通知する。

※全部門の決勝の結果はホームページ上で発表する。

(2) 会 場 熊本市立必由館高等学校

〒860-0863 熊本市中央区坪井4丁目15番1号（地点：南千反畑）

必由館高校までのアクセス

熊本電鉄バス 系統(C1、C3)「市立必由館高校前」下車 徒歩約5分。

受付場所は体育館です。正門を入れて右に進んでください。

6 参加規定

「校内放送研究 No. 188」(以下、赤本)の2ページを参照すること。

次のURLからダウンロードすること。 <http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/>

提出部数等、県大会独自の規定があるので、下記を熟読して不備のないよう注意すること。

(1) 参加資格

- ① 2023年7月現在、熊本県内の以下の学校・専修学校・各種学校に在籍中の生徒およびその生徒の作品であること。
 - ・ 高等学校および中等教育学校の後期課程
 - ・ 特別支援学校の各高等部
 - ・ 高等専門学校(第3年次までの生徒)
 - ・ 専修学校および各種学校(修業年限が高等学校と一致していること)
- ② 各部門への参加は、当該校の代表であること。
- ③ アナウンス・朗読部門へのエントリーは1名1部門とし、各部門に何人エントリーしてもかまわない。また、番組制作および校内放送研究発表会の各部門は1部門のエントリーは1校1作品とする。
- ④ 番組制作の各部門は、高校生の創作に限る。また、他のコンテスト・コンクールなどに参加した作品やそれを改変した作品の参加は認めない。

(2) エントリー(県代表推薦数)

部門	県大会の各校エントリー数	全国大会への県代表推薦数
アナウンス	制限なし	6名
朗読	制限なし	6名
ラジオドキュメント	1作品	4作品
テレビドキュメント	1作品	4作品
創作ラジオドラマ	1作品	2作品
創作テレビドラマ	1作品	2作品
校内放送研究発表会	1点	2校

※全国大会の参加費は、各代表校の負担とする。

(3) アナウンス部門

- ① アナウンスする内容は、自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限る。
- ② アナウンスのはじめに、エントリー番号と氏名を読むこととし(学校名は読まない)、時間はそれらを含め、1分10秒以上1分30秒以内とする。字数は制限しない。
※エントリー番号は事前に交付する。
- ③ 原稿用紙は、第70回NHK杯全国高校放送コンテストのホームページから様式1をダウンロードして使用すること。出場者自身が直接入力したものか、手書きしたものを2部(コピー可)提出する。(書き方は赤本に従うこと。)
※原稿は、必ず袋とじにして右側2カ所をホッチキスで綴じる。(仕上がりサイズはA5版となる。)

(4) 朗読部門

- ① 次の5作品から1編を選び、自分の表現したい部分を決め、朗読する。作品の改変は認めない。
※抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみなす。
本文中の()内も読むこと。(読み仮名・注を除く)

作品番号	作 品	著 者	出 版 社	注 意
1	教科書で読む名作 羅生門・蜜柑 ほか	芥川龍之介	ちくま文庫	電子書籍不可 1) 2) は、収録作品のいずれを選んでも良い。 1) は、2016年発行以降に限る。4) は、2014年発行以降に限る。5) は現代語訳不可、出版社は問わない。
2	買えない味	平松 洋子	ちくま文庫	
3	金の角持つ子どもたち	藤岡 陽子	集英社文庫	
4	リンバロストの乙女 上・下	ジーン・ポーター著 村岡 花子訳	河出文庫	
5	奥の細道	松尾 芭蕉		

②朗読のはじめに、エントリー番号、氏名、作者名（訳者名は読まない）、作品名を読むこととし（学校名は読まない）、時間はそれらを含め1分30秒以上2分以内とする。字数は制限しない。
※指定作品1)は選定した収録作品の各タイトルを作品名として読むこと。4)の「上・下」は読まない。

※朗読で選ぶ部分は、「差別的表現」のあるところを避けること。

※エントリー番号は事前に交付する。

③原稿用紙は、第70回NHK杯全国高校放送コンテストのホームページから様式1をダウンロードして使用すること。出場者自身が直接入力したものか、手書きしたものを2部提出する。（コピー可）（書き方は赤本に従うこと。）

※原稿は、必ず袋とじにして右側2カ所をホッチキスで綴じる。（仕上がりサイズはA5版となる。）
なお、指定作品1)～4)については原稿表紙に抽出部分の開始ページを記入すること。

(5) ドキュメント・創作ドラマ・校内放送研究発表会部門

高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオ・テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切にした、独創的な作品であること。また、全国统一テーマ「私たち高校生と放送」に沿った高校生に向けた内容であること。

※赤本の下記ページを熟読し、規定違反のないように制作すること。

①著作権に関すること

「参加規定」（2ページ）

「番組制作について」（17ページ）

「変更・追加・注意点」（5ページ）

※詳細「番組部門制作関連資料（ダウンロード）」を参照

②各部門の規定

ラジオドキュメント部門： 8～9ページ

テレビドキュメント部門： 10～11ページ

創作ラジオドラマ部門： 12～13ページ

創作テレビドラマ部門： 14～15ページ

校内放送研究発表会： 16ページ

※テレビ部門の作品画面のアスペクト比は、「16：9」に統一すること。

※テレビ作品は、テストパターンの中に学校名を入れない。テストパターンはホームページからダウンロードして改変せずに使用すること。

※赤本17ページ「番組制作について」及びその詳細となる「番組部門制作関連資料（ダウンロード）」を熟読すること。特に「番組部門制作関連資料」の10～11ページの「権利処理一覧表記入例」とその解説は、作成時に大変参考になる。

(6) 著作権等に関する変更点・追加点など

- ①応募された参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。
- ②「著作物」著作権の保護期間が「著作者の死後70年」に延長（2018年12月30日発効）。
- ③外国曲（J-WIDの検索で表示される作品コード（8桁）の左から2番目の文字がアルファベットで表記されているもの）や専属曲（J-WIDの作品詳細表示画面の該当区分に専属とあるもの）は、当コンテストでは、Web上でのデータの審査や公開が、著作権処理の関係上できない可能性があるため、使用しない。NexToneの場合も、Webサイトの記載に従って同様の手続きを行うこと。

(7) その他の注意

- ①各規定や注意に反したもの、および時間の過不足は失格とし、審査の対象から外す。
- ②アナウンス・朗読部門については、今年度はデータでの発表には対応しない。会場での発表を審査する。
- ③番組各部門・研究発表会部門の音源使用に関わる著作権処理について
 - ・赤本を熟読し事前に処理を行い、許諾書・明細書のコピーを添付した上で作品を提出すること。（提出時までには著作権処理を完了していない作品は失格とする。）
 - ・音源使用許諾申請書の様式は、「第70回NHK杯全国高校放送コンテスト」のホームページからダウンロードすること。
 - ・申請については、「番組部門制作関連資料（ダウンロード）」2～6ページを参照すること。著作権料は参加校の負担とし、必ず支払いまで済ませておくこと。
 - ・「著作権フリー」とうたっている素材の中には、私的使用でない場合（コンテストへの出品等）、著作権の手続きが必要となるものもある。制作元に問い合わせ、よく確認すること。分からない場合は、使用不可とする。データクラフト社の「音辞典」「素材辞典」シリーズは、本大会（全国大会を含む）でフリー素材として使用することはできない。使用する場合は、所定の手続きを経て、許諾を得ること。
 - ・レコード会社によっては事務処理が遅いこともあるが、作品提出の期限は厳守しなければならないので、著作権処理は早めに行うこと。「著作権フリー」のCDを使用すれば手続きは不要になり、著作権料を払い込む必要もなくなる。なお、赤本の様式2-3「権利処理一覧表」は、著作権フリーCD使用の場合等、著作権料等が不要の場合も、すべての音源について必ず作成すること。
 - ・インターネット上の素材は、著作権フリーであっても使用不可とする。（「番組部門制作関連資料（ダウンロード）」5ページ参照）
- ④赤本23ページに「番組進行表 提出前のチェック項目」がついているので、番組進行表に不備がないか、必ず提出前にチェックすること。

7 原稿・作品提出に関する留意事項

(1) 必要部数および提出形式

○アナウンス・朗読

- ・原稿2部（専用原稿用紙（様式1）を使用する。（コピー可））（郵送または持参）
- ・原稿のPDFファイル
- ※アナウンス部門・朗読部門にエントリーする者は全員提出する。
- ※各データは発表者1人につき1ファイル作成する。

- ①形式：原稿データは**A4サイズ**で**PDF形式**
- ②ファイル名：アナウンス部門：「A（エントリー番号）（氏名）.pdf」
朗読部門：「R（エントリー番号）（氏名）.pdf」
- ③全員分の原稿データファイルをGoogle Driveにアップロードする。

○ドキュメント・創作ドラマ

- ・作品データ Google Drive にアップロードするか、CD-Rまたは、DVD-R 2枚（審査用1枚とバックアップ用1枚）を提出する。

ラジオ：**音声ファイルMP3**形式

テレビ：**MP4形式**（NTSC規格、アスペクト比16:9、H.264コーデック、SD画質＜解像度480[720×480]＞）

- ・番組進行表（様式2-1～様式2-5）1部（郵送または持参）
- ・番組進行表（様式2-1～様式2-5）のPDFファイル（A4サイズ）

※各データは1作品につき1ファイル作成する。トラックは1つのみとする。**クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。**

ファイル名：「（ラジオ/テレビ_ドキュ/ドラ）【学校名】.mp3./mp4./pdf.」

※CD-R又はDVD-Rは2枚とも、必ず複数のパソコンで再生できることを確認すること。

Google Drive にアップロードする場合にも再生できることを確認すること。

※「音源以外の著作物の使用、取材の許諾」を必要とする場合は、様式2-5を添付すること。

※番組進行表等PDFのファイルをGoogle Drive にアップロードする。

○校内放送研究発表会

- ・研究要旨1部（200字程度）（郵送または持参）
- ・研究要旨のPDFファイル（A4サイズ）
- ・番組進行表（様式2-1（開発）～様式2-5）1部（郵送または持参）
- ・番組進行表（様式2-1（開発）～様式2-5）のPDFファイル（A4サイズ）
- ・PowerPoint のデータを1校につき**30MB**以内で**CD-Rに入力したもの2枚**提出するか、Google Drive にアップロードする。（必ずウイルスチェックを行うこと）
- ・ファイル名：「開発【学校名】.ppt./pdf.」

※著作権の処理が必要なもの（BGM、写真など）については、番組部門と同様の処理を行う。

（様式2-1（開発）、2-2（開発用）、2-3、必要に応じて2-3、2-5）

※CD-Rで提出する場合は2枚とも、事前に複数のパソコンで再生できることの確認を行うこと。また、Google Drive にアップロードする場合にも同様に確認すること。

※研究要旨・番組進行表等のPDFファイルをGoogle Drive にアップロードする。

(2) 登録シート（全部門）

氏名、ふりがな、学年他必要事項を記入する。

(3) 原稿（アナウンス・朗読部門）

必ず袋とじにし、右側2カ所をホッチキスで綴じる。仕上がりサイズはA5版となる。

(4) 参加ラベル（番組各部門）

○ラジオドキュメント・創作ラジオドラマ

CD-R又はDVD-Rで提出する場合には、レーベル面に部門名、学校名、作品名を記入もしくは印刷する。また、ケースには参加ラベルを貼り付ける。

○テレビドキュメント・創作テレビドラマ

CD-R又はDVD-Rで提出する場合には、レーベル面に部門名、学校名、作品名を記入もしくは印刷する。また、ケースには、参加ラベルを貼り付ける。

○校内放送研究発表会

CD-R又はDVD-Rのレーベル面で提出する場合には、部門名、学校名と作品名を記入する。

また、パワーポイントデータは必ずウイルスチェックを済ませてから提出する。また、ケースには参加ラベルを貼り付ける。

※テレビ番組のメディアには、アスペクト比（16：9）を記入する。

(5) 番組進行表

- ①表紙は必ず様式規定どおりの内容と順序で必要事項を記載する。必ず1枚にまとめる。
- ②CUEシートは、「番組部門制作関連資料（ダウンロード）」に詳しい記入例が掲載されているので必ず確認すること。1枚にまとめる必要はない。
- ③権利処理一覧表は、作品に使用した著作物と権利処理内容を全て記入すること。著作権処理の必要な音源等を使用した場合、許諾書と明細書のコピーも添付すること。

(6) 番組各部門について

- ①Google Drive にアップロードする。メディアで提出する場合は、CD-R又はDVD-Rのみ。必ず2枚とも複数のパソコンで再生できることを確認して別々のケースに入れて提出すること。
- ②校外の施設を利用して制作する場合は、その施設の利用時間等の規定および高校生としての良識に反しないよう注意する。
- ③企画・番組進行表作成、収録、機器の操作等一切、終始、参加資格のある生徒のみが制作にあたること。

原稿・作品全般にわたって注意してほしい点

ア. 県大会独自の規定以外は、全て第70回NHK杯全国高校放送コンテストの規定どおりに行うので、顧問の先生は、赤本「校内放送研究」（NO. 188）を熟読し、適切に処理してください。

イ. 各種原稿用紙・番組進行表などはすべて、「第70回NHK杯全国高校放送コンテスト」のホームページからダウンロードしたものを使用してください。

<http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/>

ウ. 第70回NHK杯全国高校放送コンテストは、アナウンス・朗読部門については、音声データの提出はありません。会場での発表を審査します。アナウンス・朗読部門においては準決勝・決勝課題が課されます。「番組部門」は69回と同様に作品をデータで提出します。形式については、赤本「校内放送研究」（NO. 188）の各部門のページに記載されている指示にしたがってください。

8 参加申込

(1) 提出物

- ① 「【学校名】70県大会アナ朗全部門登録.xlsx」ファイル内の次のシート
 - ・「アナウンス・朗読登録シート」（該当校のみ）ファイル名：「【〇〇高校】アナ朗_70Nコン県大会」
 - ・「全部門登録シート」（学校ごと）ファイル名：「【〇〇高校】70Nコン県大会」Excelシートに必要事項を入力し、メール添付で送信すること。
各「登録シート」の様式（Excelファイル）は、要項とともに各校のメールアドレスに送信しています。また、熊本県高等学校文化連盟放送専門部ホームページからもダウンロード可能です。
- ② 各部門の提出物
本要項4～6ページ「7 原稿・作品提出に関する留意事項」で確認すること。

(2) 登録料の納入

6月の県大会においてエントリーする生徒・作品ごとに登録料を納入する（令和元年度より）。

- ① 登録料

- アナウンス・朗読部門（原稿・データ提出分）1名につき 1,000円
○番組制作・校内放送研究発表会の各部門 1作品（1点）につき 3,000円

② 納入期限・方法

下記のとおり、学校ごとに一括して振り込むこと。

※振込手数料は各校で負担すること。

※全部門登録シート（5月31日（水）提出分）の金額と相違がないよう十分留意すること。

提出先

熊本市立必由館高等学校 熊本市中央区坪井4丁目15番1号

熊本県高文連放送専門部 松本 芳盛 宛

電話 096-343-0236 FAX 096-344-7289

E-mail: tt01-kbc@g.bears.ed.jp

① 提出期限

ア アナウンス・朗読部門登録シート（エントリー番号交付用）

: 令和5年（2023年）5月26日（金）18:00 電子メール

イ 全部門登録シート、全部門作品データ・原稿・番組進行表等

: 令和5年（2023年）5月31日（水）18:00必着

電子メール・郵送・持参・アップロード

※18:00には専門部職員が本校正面玄関に待機しています。刻限を過ぎた場合は一切受け付けません。

②著作権処理をして発生した著作権料は、各校で支払うこと。

③提出時に著作権処理が完了していない作品や、許諾書・明細書のコピーを添付していない作品は失格となります。

④登録料の納入について

納入期限 令和5年（2023年）6月7日（水）

振込先 （銀行名） 肥後銀行 楠支店 （口座番号）1608816

（口座名義人）熊本県高等学校放送部 部長 城野 実

※振込時の依頼人は学校名でお願いします。（熊本県立や高校等は省く。例：必由館）

9 顧問の先生方へ

- (1) 今後の大会・校内放送合同講習会などに関する連絡等は、下記のホームページに掲載します。
- (2) 各自で上履きの準備をお願いします。
- (3) ゴミは全て持ち帰るようにお願いします。

熊本県高文連放送専門部HP 『 <https://ws.higo.ed.jp/hshouse/> 』

第70回NHK杯全国高校放送コンテスト 熊本県大会用 参加ラベル

- 1 適度な大きさにコピーして、外枠に沿って切り取ってください。(不足する時はコピーしてください。)
- 2 CD-RやDVD-Rのケースに貼付してください

CD-R・DVD-Rのケース用

テレビドキュメント部門
学校名
作品名

ラジオドキュメント部門
学校名
作品名

創作テレビドラマ部門
学校名
作品名

創作ラジオドラマ部門
学校名
作品名

校内放送研究発表会
学校名
研究名

様式 1

同意書

新型コロナウイルス感染症に関する確認事項を遵守するとともに、健康上問題ないことを認め、第70回NHK杯全国高校放送コンテスト熊本県大会への参加に同意します。

令和5年6月 日

熊本県高等学校文化連盟放送専門部長 様

参加大会名	第70回NHK杯全国高校放送コンテスト熊本県大会
学校名	
生徒氏名	
保護者氏名	印
緊急連絡先	

※生徒氏名・保護者氏名の欄は、必ず自筆で記入してください。

再確認！

- Q.1：提出期限が18時までですが、少し遅れてもいいですか？
Q.2：レコード会社がいつまでも曲の使用を許諾してくれないのですが、あとからでもいいですか？
Q.3：提出した原稿に間違いがありましたが、取り替えることができますか？



すべて「NO」とします。

- A.1：提出期限に間に合わないものはすべて失格です。
A.2：許諾が得られた曲、あるいは著作権フリーの曲を使用して期限までに提出しなければ失格です。
A.3：原稿の誤記、誤読は審査の重要ポイントです。原稿を提出するときからコンテストは始まっています。事前に十分確認してから提出してください。

- 放送の世界では遅刻・誤り・著作権侵害は許されません。
- ルールを厳守しなければ、公平・平等な審査はできません。
- ルールを守らないことにより、専門部の作業に支障が生じ、ひいては他の参加者の迷惑になります。

放送人としての十分な自覚を！